



奈良町にぎわい通信



お水取りのお香水



Vol.47

二〇一九・啓蟄〜春分



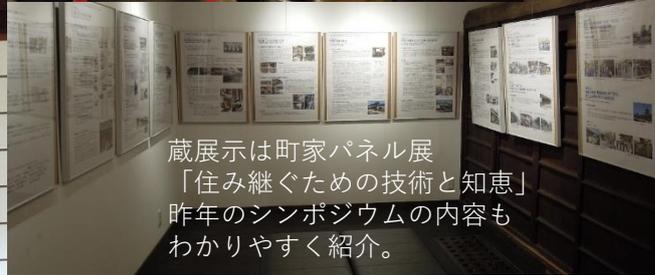
発行
奈良町
にぎわいの家



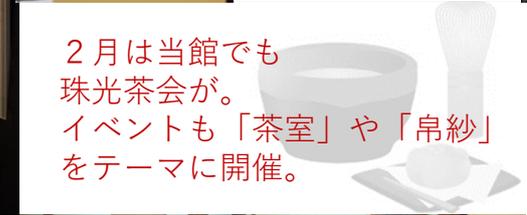
町家講座・満員御礼！
「奈良町茶室の楽しみ方」



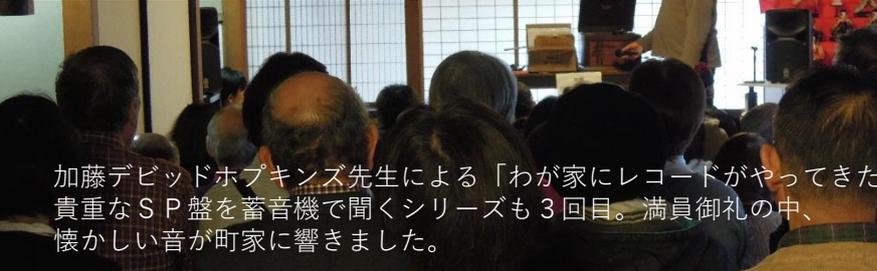
建築家の岡田伸子先生による
茶室のお話。
エピソードも交えながらのお話に
聞き入りました。



歳展示は町家パネル展
「住み継ぐための技術と知恵」
昨年のシンポジウムの内容も
わかりやすく紹介。



2月は当館でも
珠光茶会が。
イベントも「茶室」や「帛紗」
をテーマに開催。



加藤デビッドホプキンス先生による「わが家にレコードがやってきた」
貴重なSP盤を蓄音機で聞くシリーズも3回目。満員御礼の中、
懐かしい音が町家に響きました。



古帛紗（ふくさ）作り
詳細は次ページに。

奈良町にぎわいの家 2月のイベントから

奈良町にぎわいの家 後援
「おにはうちものがたり」
～ならまちアートセンター～ &
市民による文化創造

つし2階アート企画vol.16
「拝啓 おにはうちものがたり」
展示...たかはしなつき（彫刻家）



つし2階に再現された
舞台美術。



奈良公園で
染めた布が
舞台に！

指導...たかはしなつき



脚本・演出 小野小町

於...ならまちセンター

元興寺の元興寺神をモチーフに書いた
オリジナル朗読劇を市民参加型で！



指導...浅利大生
松尾謙

舞台美術も
倍響も参加型で
つくる実験的な舞
台

お話
事務長
吉田 貴博 さん



- 開館時間
10:00-18:00
(入館は17:30まで)
- 休館...月曜日
(その日が祝日の場合は翌日)
- 入館料...無料
- 連絡先
〒630-8346
奈良市阿字万字町1-1
TEL 0742-27-0033

●施設紹介

奈良は古来からの国際文化観光都市として、日本の文化や伝統工芸発祥の地として栄えてきた歴史があります。その奈良工芸の振興と発展を図るために、平成12年に開館しました。「①受け継ぐ②創作する③開放する」の三つを基本理念とした施設で、1階は展示や販売、2階は研修スペースがあります。

●事業内容

- ①展示…常設展は、地元の工芸作家の皆さんの作品を展示、一刀彫、赤膚焼、奈良晒、奈良団扇をはじめ、奈良墨、奈良筆などもご覧いただけます。また特別展として 日本伝統工芸近畿展も開催、受賞作品や県内の入選作家作品に触れる機会となっています。また地元の方の協力による、奥田木白(江戸後期の赤膚焼の名匠)の作品展も開催、奈良ゆかりの優れた作品に出会う場となっています。
- ②工芸体験…実際に制作できる場として、一般の皆さんに受講してもらえ体験教室があります。陶芸、一刀彫、漆など、2019年度は10教室を開催しますので、ぜひ、お気軽にご参加ください。1月には、教室作品の展示もします。また、夏休みの子どもに特化した1日でできる手作り教室も好評です。
- ③工芸品の販売…手にとっていただきやすいマグカップやぐい呑み、ふきんをはじめ本格的な工芸品までお求めいただけます。季節を感じていただけるような商品構成もしています。奈良のお土産スポットとして気軽にお立ち寄りください。

●工芸の良さを若い世代に

奈良市から委託を受けて、工芸に携わる若手を育てるための、後継者育成事業を続けています。現在、5期生となるこの事業は、3年間の研修期間を設け、工房主さんの元で修行をするものです。一本立ちに向けての手助けとなる大事な機会であると共に、こうした若い世代が、当館での土日の実演や、フェスティバル等のお手伝いなどにも積極的に参加してもらえるのは、有り難いことです。

聞き手・文責 おのこまち

101年の縫い目をつないで～古帛紗作り講座から

珠光茶会に寄せて、2つの茶道関連イベントを行いました。2/2は古帛紗(こぶくさ)作り、2/16は奈良町の茶室を知る町家講座です。県下の茶室を数多く調査された一級建築士・岡田伸子先生による、茶室の見どころや工夫など明快な語り口で大好評でした。さて、古帛紗は生地や仕立てに茶人の好みもありますが、今回はまず針を持って縫ってみよう!と、誰でも作れる方法で行います。ポイントは粗く縫うこと(笑)。細かすぎると生地がビリつきます。そして目からウロコなのが、ひっくり返す方法です。糸をたるませて、たるませて、角を折込んで・・・。「簡単だった!」と男性や外国人の参加者にも喜んで頂けました。ところで、私の和裁の先生は101才。にぎわいの家と同じです。今も裸眼で針に糸を通し、3.5ミリと4ミリを「目差し」で区別、要所はソラで指導されます。医者のお嬢さんが戦前から休むことなく働き続けてこられた姿に、いつも背中を押されています。百年を軽やかに生きる人と建物に囲まれて、私は幸せ者ですよ! (堀内紀子)



奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～春分～

さみどりに香る草餅春彼岸あの人この人 偲びつつ食む

オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2019 春分

春、自然とともに

事務局長 藤野正文

ようやく春の温かい日差しが差し始めましたね。「春分」から昼の時間が夜の時間より長くなってきます。私の好きなころ。

この日は国民の祝日の「春分の日」として「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」と定められています。国立天文台が算出する春分日を基にして閣議決定され、前年2月1日に暦要項として官報で告示されるという公式日程。天文学に基づいて年ごとに決定される国家の祝日は世界的にみても珍しいらしい。山・海・川に出かけ、自然のありがたみを感じるのもいいのでは。

世界でも、春分はイラン暦の元日でイランを中心に、中央アジアからアフリカまでの広い地域で祝われる祭りとか。

その日には太陽は真西に沈むため、そもそも日本に古来からあった祖霊信仰、神様への春の収穫を願う、その太陽を礼拝していたのが、ご先祖様を供養するよう仏教行事となっていたといわれています。奈良町では、生駒山に沈む夕日を眺められる崖上の場所や坂道がありますね。そんな楽しみも心の余裕がないと。

また、この日ははさんで前後7日間



イタリアから。明るいオレンジ色がお似合い。



この時期恒例の着物体験は、海外のお客様に好評です！

が春の彼岸で、お彼岸とは、春分の日を中心（ちゆうにち）として、その前後、3日間を合わせた合計7日間になりますね。

今年3月18日が彼岸の入り、21日が中日、24日彼岸明け。お彼岸には、ぼたもちを先祖の供養にお供えします。ぼた餅に使われる小豆の赤色には、災難から身を守る効果があり、「邪気を払う」という意味があるようです。このころ、我が家では近くの公園で生えてくる土筆（つくし）を摘んできて、茹でて食べ、季節を楽しんでいます。

ロンドンから。エレガントですね。

絵手紙、水墨画、書道...ちょっと立ち寄ってみませんか？（開催日は要問い合わせ）



季節の色を感じる絵手紙、力作ですね。



フランスから。家族のお花ごで墨！



当館スタッフによる気軽な体験講座、開催中！

奈良町にぎわい通信vol.47

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家

9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917
nigiwainoie@gimal.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書：逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



啓蟄

3/6~20



春分

3/21~4/4

やまざくら遠く眺めてさかづきを
しづかにあぐる翁となれり 前登志夫